

# まよりのくらみっさん



長かった自粛期間を経て、ここのところ読書に時間を充てることになりました。休みの日など、軽い気持ちで本を手に取り、気付けば夕方、なんてこともしばしば。大好きな作家である西尾維新の本を読み漁る日々を送っております。

最近のお気に入りには忘却探偵シリーズ、ドラマ化もされた作品です。本格的なミステリー物という触れ込みで、最初は少々構えて読み始めたのですが、なんて事はない。

あまりの読みやすさに拍子抜けでした。

事件の解決編で犯人が使ったトリックが明らかにされるのですが、そのあまりの斬新さには毎回驚かされます。

もちろん西尾維新の特徴の一つである「言葉遊び」もあって、他作品で用いられたフレーズやくだりも随所に出現、読んでいて楽しいです。

主役の掟上今日子ですが、物語シリーズの羽川翼を思わせるような描写が作中に多く出てきます。

幼少期の記憶やネコにまつわることなど。

もしかして同一人物かもと思って読んでいましたが、先日読んだ一冊で明確に否定されました。

物語シリーズから「混物語（まぜものがたり）」。

これは他シリーズとのクロスオーバー作品で、阿良々木暦の住む町に他作品の登場人物がやってきて、一緒に事件解決に取り組むという内容の短編集です。

その中に高校三年生の阿良々木暦と大人の掟上今日子がタッグを組む話があります。物語シリーズテイストで忘却探偵の活躍が描かれた、とても面白い話でした。

特に阿良々木君と今日子さんの会話劇は必見！

忘却探偵シリーズは推理小説の特性上、冗談交えた一対一の会話劇が少な目なので、この掛け合いは物語シリーズならではの、新鮮な気持ちで楽しめました。

おしまい